

11月

新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
気の毒ばたらき きたきた捕物帖 (三)	宮部 みゆき	千吉親分の文庫屋が火事になった。現場に駆け付けた北一が見たものは。謎解き×怪異×人情が味わえる、人気の捕物帖シリーズ第三弾！
禁忌の子	山口 未桜	救急医・武田の元に搬送されてきた、一体の溺死体。遺体はなんと武田と瓜二つであった。彼はなぜ死んだのか、そして自身との関係は何なのか、武田は始める。鍵を握る人物に会おうとした矢先、相手が密室内で死体となって発見されてしまう。
赤ずきん、アラビアンナイト で死体と出会う。	青柳 碧人	王妃が王様に語る、「アラジン」「アリババ」「シンドバッド」といった物語の中で起きる殺人事件を、赤ずきんが名推理で解決していきます。空飛ぶ絨毯やランプの魔人といった小道具も盛り込み、これまで未読の方でも楽しめます。
罪名、一万年愛す	吉田 修一	横浜で探偵業を営む遠刈田蘭平のもとに、一風変わった依頼が舞い込んだ。九州を中心にデパートで財をなした有名一族の三代目・豊大から、ある宝石を探してほしいという。宝石の名は「一万年愛す」。
ポップ・フィクション	堂場 瞬一	大正時代、出版華やかなりし頃。「市民公論」編集部の松川は、窮地に立たされていた。担当した企画のせいで、筆者が大学を追われることになったのだ。奔走する松川に、主幹は驚きの決断を下す。
虚の伽藍	月村 了衛	より多くの金をつかんだ者が京都を制する――最後に嗤うのは仏か鬼か。日本仏教の最大宗派・燈念寺派で弱者の救済を志す若き僧侶・志方凌玄。腐敗した燈念寺派を正道に戻すため、あえて悪に身を投じる凌玄だが――。
愛しさに気づかぬうちに	川口 俊和	とある町のとある喫茶店のとある座席には不思議な都市伝説があったその席に座るとその席に座っている間だけ望んだ通りの「時間」に移動ができるというただし、そこにはめんどくさい……非常にめんどくさいルールがあった。

ずっと一緒にいられたら	小菊 えりか	ある日「何もできないとこの先困るわよ」と妻・おばあさんから言われた夫・おじいさんは、孫・さつきからアドバイスを聞きながら不器用ながらも妻の気持ちを取り戻そうと奮闘する。
放課後ミステリクラブ2	知念 実希人	ある雪の日。純白の校庭にとつぜんあらわれた巨大なミステリーサークル。だれが、なんのために、そしてどのようにして作ったのか。4年1組、辻堂天馬・柚木陸・神山美鈴、通称「ミステリトリオ」が先生の依頼で動き出す！
パンどろぼうとりんごかめん	柴田 ケイコ	にわとり一家がいとなむコッコ農園へ、パンをとどけにやってきたパンどろぼう。なにものかに農園があらされていることを知り、みまわりにでかけます。

【お知らせ】

月刊誌も配架しています。ぜひ、ご利用ください。

■NHKテレビテキスト「囲碁講座」 ■「すてきにハンドメイド」 ■「ESSE」

